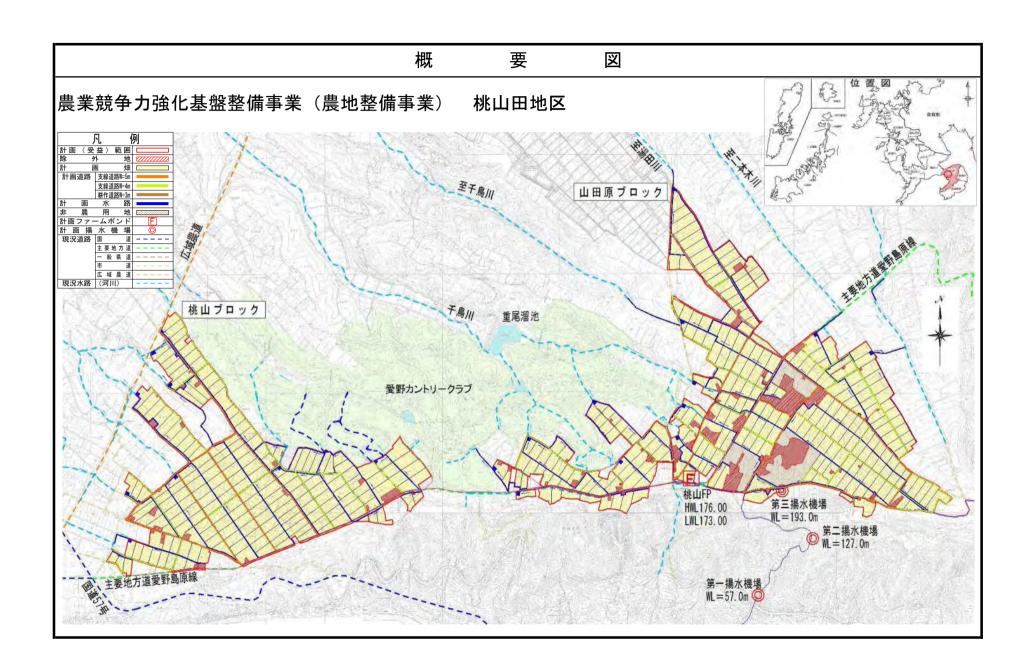
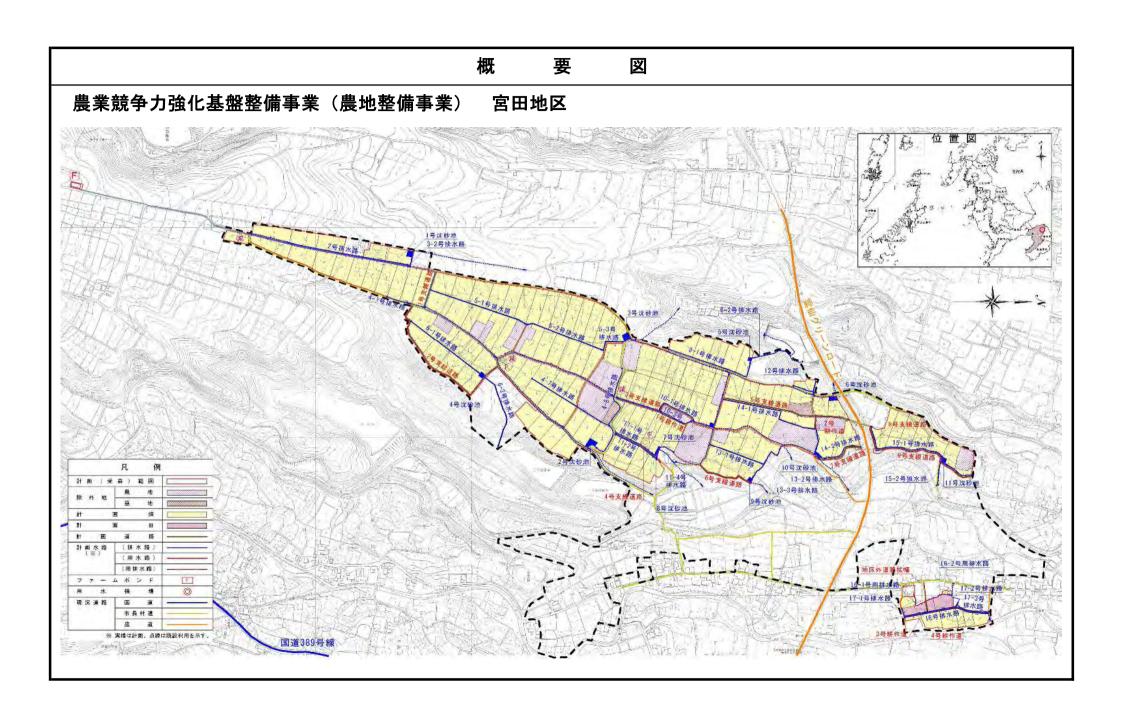
事業名	農業競争力強化基盤農地整備事業	聲 整備事業	地区名		ももやまだ 桃山田		
関係市町村	ラルぜんし 長崎県雲仙市		事業主体	長崎県	ļ		
事業目的	ばれいしょを中心に 道路が複雑に入り組 乏しく、慢性的に水 このため、区画整 地集積を進めるとと	を理及び畑地かんがい施設の整備を一体的に実施し、担い手への農 ともに、大型機械の導入により営農の効率化を図り、また、新たな ことで、安定的な農業経営を確立し、本地域の農業の競争力の強化					
	受益面積	受益戸数	総事業費	Ì	工期		
	114ha	457戸	4, 833百万	河	平成29~36年度		
	主要工事	区画整理 114ha 畑地かんがい 114ha					
	関連事業	該当なし					
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		算定方式		
	4,879百万円	4,347百万円	1. 12		総費用総便益比方式		
概要図	別添のとおり						

出典:桃山田地区土地改良事業計画概要書(長崎県農村整備課作成)



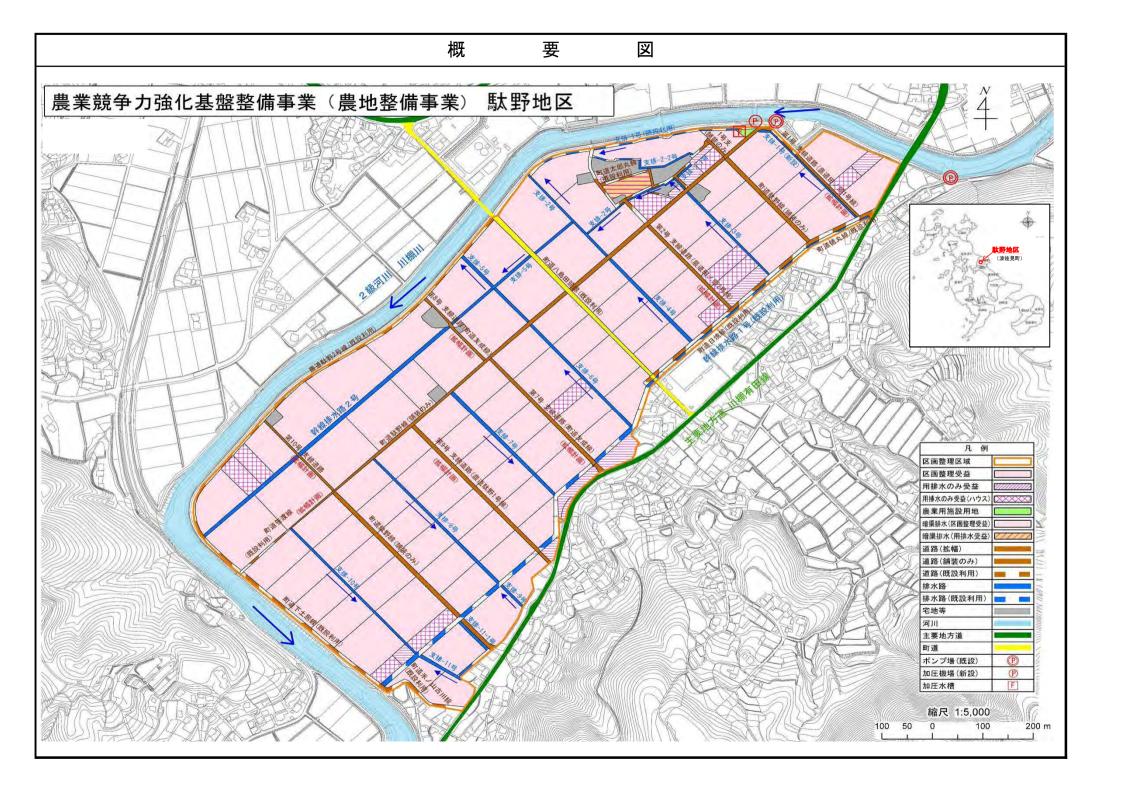
事業名	農業競争力強化基 農地整備事業	盤整備事業	地区名	^{みやだ} 宮田		
関係市町村	うんぜんし 長崎県雲仙市		事業主体	長崎県		
事業目的	仙が見います。 仙が見います。 一が表しい。 一で表しい。 一で表しい。 一で表しい。 一で表しい。 のである。 では、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、ま	、農地は丘陵勾配に沿って切り開かれ、狭小で、道路や水路も未整備なたの悪い営農を余儀なくされている。また、水源に乏しく慢性的に水不足でめ、区画整理及び畑地かんがい施設の整備を一体的に実施し、担い手へのを進めるとともに、大型機械の導入により営農の効率化を図り、また、新源を確保することで、安定的な農業経営を確立し、農業の競争力の強化を				
	受益面積	受益戸数	総事業費	工期		
事業概要	34 ha	117 戸	1,330 百万円	平成29~34年度		
	主要工事	区画整理 34ha (排水路 5 km、農道 2 km) 畑地かんがい 32ha				
	関連事業	該当なし				
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C	算定方式		
	1,444 百万円	1,170 百万円	1. 23	総費用総便益比方式		
概要図						
	. 別添のとおり					

出典:宮田地区土地改良地形計画概要書(長崎県農村整備課作成)



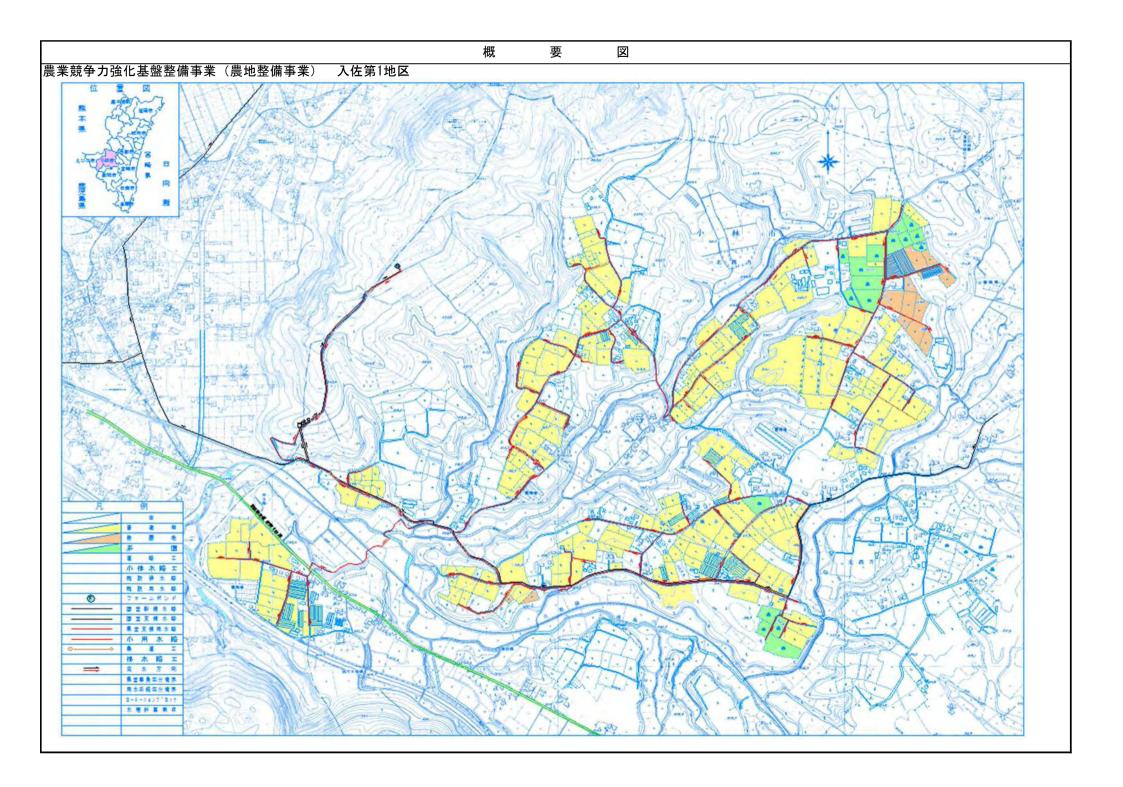
		地区別事業	既要			
事 業 名	農業競争力強化基盤 農地整備事業	整備事業	地区名	_{だ の} 駄野		
関係市町村	ひがしそのぎぐん はさみちょう 長崎県東彼杵郡波佐見町 事業主体 長崎県			長崎県		
事業目的	本地区は、長崎県	東彼杵郡波佐見町の	まぼ中央に位	ヹ 置し、二級河川川棚川と主要		
	地方道川棚有田線に囲まれた水田地帯であり、昭和46年に県営ほ場整備事業により					
	基盤整備され、水稲を中心とし小麦、大豆、アスパラガス等の営農が展開されている。					
	しかしながら、各	耕作者の農地は点在し	ン、耕作道路	Sは幅員が狭く、大型機械導入		
	による経営規模拡大	が困難である。また月	用排水施設は	老朽化が著しく水管理や維持		
	管理に多大な労力を費やしている。					
	このため、本事業	により区画整理による	るほ場の大区	画化を行い、生産性の高い優良		
	農地を確保するとと	もに、農業の生産性の	の向上及び担	!い手への農地集積の加速化を		
	り、本地域の農業競	争力の強化を図るもの	Dである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費			
	65ha 主要工事	128戸 区画整理 65ha	1,572百万	7円 平成29~34年度		
	関連事業	_				
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C			
	1,758百万円	1,630百万円	1. 07	総費用総便益比方式		
概要図	別添のとおり					

出典:駄野地区土地改良事業計画概要書(長崎県農村整備課作成)



事業名	農業競争力強化基 農地整備事業	盤整備事業	地区名	八	e だいいち 佐第 1	
関係市町村	宮崎県小林市		事業主体	宮口	崎県	
事業目的	本地区は、小林市の西側に位置し、さといも、ごぼう、いちご、ピーマン、飼料作物等を中心とした営農が展開されている。 地区内の基幹水利施設は、国営かんがい排水事業により整備されているものの、 末端の畑地かんがい施設は未整備であることから、不安定な農業経営を余儀なくされている。 このため、本事業により国営かんがい排水事業と一体的に末端の畑地かんがい施設の整備を行うことにより、農業の生産性の向上を図り、本地域の農業競争力の強化を図るものである。					
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	総事業費 工 期		
	82ha	111戸	1,508百万円 平成2		平成29~	35年度
	主要工事	畑地かんがい 82ha 農道 3 km				
	関連事業	国営かんがい排水事業 西諸地区				
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C 算定方		方式	
	2,948百万円	2, 599百万円	1. 13		総費用総値	更益比方式
概要図	別添のとおり					

出典:入佐第1地区土地改良事業計画概要書(宮崎県農政水産部農村計画課作成)



事 業 名	農業競争力強化基盘 農地整備事業	地区名	大河平			
関係市町村	宮崎県えびの市		事業主体	宮崎県		
事業目的	本地区は、えびの市の東部に位置し、露地野菜(さといも、ごぼう等)、施設野菜(きゅうり、ピーマン)、飼料等を中心とした営農を展開している。 地区内の基幹水利施設は、国営かんがい排水事業により整備されているものの、 末端の畑地かんがい施設は未整備であり、不安定な農業経営を余儀なくされている。 このため、本事業により国営かんがい排水時事業と一体的に末端の畑地かんがい施設の整備等を実施することにより、農業生産性の向上を図り、本地域の農業競争力の強化を図るものである。					
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	ŧ	工期	
	88ha	163戸 3,859百万円 平成29~37年			成29~37年度	
	主要工事	畑地かんがい 87ha 区画整理 78ha 農道 0.1km 侵入防止柵 22km				
	関連事業	国営かんがい排水事業 西諸地区				
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		算定方式	
	5, 371百万円	4,818百万円	1.11	総費	用総便益比方式	
概要図	別添のとおり					

出典:大河平地区土地改良事業計画概要書(宮崎県農政水産部農村計画課作成)

